

発見！ 必見！

No.1 発行:会津教育事務所

放課後子ども教室



今回の訪問(2019年7月5日)は「**おおとっ子1455**」です。

- ・開設年度・・・平成30年度
- ・主な活動・・・フライングディスク、囲碁、昔遊び
- ・活動回数・・・年間20回
- スポーツウェルネス吹き矢
- ・対 象・・・小学校1年生～6年生(18人)
- 夏休み勉強会(英語、カヌー、絵画、パソコン)

温かく手厚い 受け入れ体制

～地域の子どもの地域で育む～



「おおとっ子1455」は、昨年度から始まった放課後子ども教室です。コーディネーターや安全管理員、活動指導員は、地元のことを知り尽くしている地域の方々に担っていただいております。「この話だったら〇〇さん」などと公民館職員と常に情報交換をしながら子どもたちのために情報をキャッチしてします。しかも、子どもたちもみんなが知っている、近所のおばちゃん、おじちゃんなので、温かい雰囲気になっています。

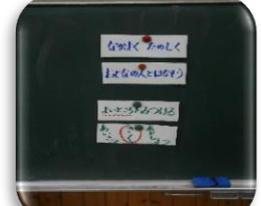
放課後子ども教室開始前に、教室の窓を開けて新鮮な空気を入れ、麦茶ポットを準備して、子どもたちを受け入れます。声をかけハイタッチをしたり、お話をしたり…。子どもたちが安心してスムーズに次の活動に入れるのは、このような受け入れの温かさや優しさがあるからこそです。下校の見送りに活動指導員自家製キュウリ漬けをご馳走していました。温かく手厚い受け入れ体制のすばらしさを感じた訪問でした。



「これ見て！今日はね…」と子どもたちが楽しそうに話しかけます。全員が揃うまで宿題や読書などをします。



始まりの式を必ず行い、輪番で当番が司会をします。「あいづっこ宣言」を唱和し、心の準備もします。



今日の目標をみんなで決めます。今日は…
「なかよく楽しく」
「よいところを見つける」



「終わりの式」では、反省と次回の教室の話をします。



安全管理員がバスを利用して
いる児童を乗車させ見送り終了！



「おおとっ子1455」では、コーディネーターと学校・公民館がトライアングル状につながり、顔を見て話し合っています。三者がバラバラではなく、タッグを組むことによって、子どもたちが安心して活動できる放課後の活動拠点をつくっています。地域住民の参画が子どもの安心感につながります。

